



伝言板

◇有機・環境保全型農業推進シンポジウム「今後の農産物流通の動きを展望する」
エフティビーエスと日本SEQ推進機構は3月22日、食の安全と流通の問題を考えるシンポジウムを開催する。

食のグローバル化が進むなか、輸入農産物や残留農薬、土壌や水質の汚染など環境問題を含めた影響が懸念されているが、そこには生産から販売までの流通の問題も大きくかわる。シンポジウムでは有機農業を軸とした環境保全型の農業と民間の流通・販売の動きを語りあう。

基調講演「有機・環境保全型農業の推進と日本農業の活性化」(国井正幸・農林水産副大臣)、「有機農業推進法の成立から見る政策課題」(ツルネンマルティ・参議院議員)、パネルディスカッション「新しい農産物流通の動きを展望する」(栗原眞・農林水産省環境保全型農業対策室長、寺島晋・イオン農産部長、堀内信介・イーサポートリンク代表取締役、深沢米男・前コープネット農産部長)

■日時 3月22日(木) 13時30分～17時

45分

■場所 星陵会館(東京都千代田区永田町2-16-2)

■参加費 1500円(資料代を含む)

■申し込み・問い合わせ エフティビーエス ☎03-3524-5081 FAX 03-3524-5082 参加費を振り込み(三菱東京UFJ銀行銀座通支店・普通預金1299756、郵便局00120191356354 口座名・エフティビーエス株式会社)、振込書を添付して、住所・氏名・連絡先を明記した参加申込書をFAXする。

■申し込み締め切り 3月16日(金)